／

国語十一　教科書六十四ページ～

五年　名前（　　）

「古典（こてん）の世界」について、古典の意味やよさを読み取ろう。

●六十四ページを読んで、まとめましょう。

長い（　　）、今日まで（　　）を古典といいます。

千年以上の昔から、人々は（　　）、（　　）、（　　）をいだいていたのでしょう。

多くの人に知られている古典の、始まりの部分を集めました。

言葉の（　　）や（　　）を味わったり、（　　）したりしながら、声に出して読みましょう。

●六十四ページ「竹取物語」の絵を見て、様子を想像しましょう。

・だれが

・どんなこと

●六十五ページ「竹取物語」を写しましょう

（昔のかな使いのまま写します）

竹取物語

今は昔、竹取の翁といふ

その

。

●説明を書きとりましょう。

「竹取物語」は、（　　）に書かれた（　　）です。作者は（　　）。この物語は、今は、（「　　」）の名でも知られています。

物語の中の、（　　）出来事にわくわくするのは、（　　）、おなじなのでしょう。

●六十八ページ「徒然草（つれづれぐさ）」を写しましょう。

（昔のかな使いのまま写します）

徒然草

兼好法師

つれづれなるままに

●説明を書きとりましょう。

「徒然草は」、（　　）、移りゆく（　　）などについて書かれた作品です。作者である兼好法師の、（　　）が表れています。

●学習した感想を書きましょう。

（　　）古典の意味が分かった

（　　）竹取物語の話の意味が分かった。